感染症ひとくち情報

2026年5月28日
東京都健康安全研究センター

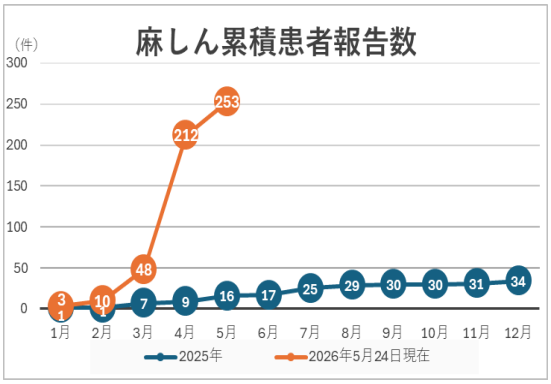
# 麻しん（はしか）に注意！

## ☑どんな病気？

※イラストは文章生成AIにより作成

・麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。
・発熱、咳、鼻水などの**風邪のような症状**のあとに、高熱と発疹が出現し、肺炎や脳炎等の重篤な合併症を発症することもあります。感染してから発症するまでは約10日、周囲に感染させる可能性がある期間は発症前1日～解熱後3日です。
**予防接種によって、自分自身を守るだけでなく周囲の方へ感染を広げてしまうリスクも下げることができます。**
・麻しんは感染力が非常に強く、免疫を持たない人が感染するとほぼ100%発症するため、子供のころに2回の予防接種をすることになっています。
・2回接種により、麻しんに罹っても症状が軽く済むことに加え、肺炎や脳炎といった重い合併症のリスクを下げることが知られています。
・たくさんの人がワクチン接種すると、病気が広がりにくくなり、ワクチン接種できない人や免疫がない人も間接的に守られるようになります。そのためには95%以上の定期予防接種率が必要ですが、都においては、2024年で第１期（１歳児）94.5%、第２期（小学校就学前の１年間）90.4%と95%に達していない状況です。
・東京都は都民の皆様に、予防接種が2回未満で罹患歴がない等の場合は、医療機関への相談（抗体検査や予防接種の実施について）を呼びかけています。

## ☑どのくらい発生しているの？




・今年は5月24日時点で253件となっています。30代までの患者が全体の9割弱で、麻しんによる学校臨時休業も報告されています。

## ☑麻しんかもしれないと思ったら

・医療機関に電話で相談してから受診してください。
・外出はできるだけひかえてください。公共交通機関の利用もひかえていただくよう、ご協力をお願いします。
・マスクを着用してください。

## ☑保健所の調査・検査にご協力ください。

・厚生労働省の通知に基づき、麻しんが疑われた場合には、保健所による調査・検査等が行われます。
・保健所から連絡がきた場合には、調査・検査・健康観察等にご協力をお願いします。ご協力いただくことで、早期発見・治療につながるほか、必要時緊急接種の対象になる場合もあります。
・調査の際にワクチン接種歴、罹患歴を伺いますので、母子手帳など記録されたものをご準備いただいておくとスムーズです。
・ご心配がありましたら、最寄りの保健所までお問い合わせください。

お問い合わせは
お近くの保健所へ